

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月2日

上場会社名 株式会社昭文社

上場取引所 東

コード番号 9475 URL <https://www.mapple.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部長 (氏名) 加藤 弘之

TEL 03-3556-8171

四半期報告書提出予定日 2019年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,975	9.5	263		234		242	
2019年3月期第1四半期	2,181	4.4	311		291		311	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 212百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 353百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	13.32	
2019年3月期第1四半期	17.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	18,760	15,074	80.2
2019年3月期	19,695	15,286	77.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,048百万円 2019年3月期 15,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当予想額につきましては未定といたします。当該配当予想額が決定した時点で速やかに公表する予定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,110	94.0	400		350		350		19.25
通期	9,070	103.4	120		210		200		11.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	18,178,173 株	2019年3月期	18,178,173 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	501 株	2019年3月期	401 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	18,177,755 株	2019年3月期1Q	18,177,873 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）におけるわが国の経済は、海外経済において減速の動きがみられ輸出や鉱工業生産は弱めの動きとなっているものの、企業収益や業況感は総じて良好な水準を維持し、設備投資も増加傾向にあり、個人消費においても、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、不安定ながらも緩やかに増加する基調にありました。

このような状況において、当社グループにおきましては、データベース制作部門の子会社集中による効率化と、市販出版物における返品抑制策について引き続き注力しつつ、昨年度に整備した新三本部体制のもと、かねてからの出版不況に加え、WEBサービスやスマホアプリの普及により拡大する情報無料化の影響で継続して収益が減少する事態に歯止めをかけるべく、新企画価値、ブランド価値、カスタマイズ・ソリューション価値、安心・安全価値、リアルサービス価値等、地図・旅行情報に合わせて提供する付加価値戦略に基づく製品・サービスの投入を行っております。

まず平成時代最後の月となった4月に、前年度に発売した『平成本』につづき、「令和を前に平成をサクッと振り返ろう！」のコンセプトのもと、コンビニエンスストア専売商品として『平成31リターンズ』を発売いたしました。5月には、当社グループ旅ナカ事業戦略の先端に位置付けられる現地子会社 Guam Ocean Park Corporation が運営するマリンアクティビティ施設『グアムオーシャンパーク』をグランドオープンいたしました。そして6月に、旅マエ事業の新製品として、大人世代へ向けて、旅の楽しさを再発見できる旅行ガイドブックの新シリーズ『Re(アール・イー)』を創刊、「北海道」「東北」「東京」「北陸 金沢」「京都」「沖縄」の6エリアを、全国の主要な書店にて発売いたしました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、電子売上においては、引き続き無料ナビアプリの影響により当社 PND（簡易型カーナビゲーション）組み込みアプリの売上が減少したことに加え、毎年継続的に受注していた案件を含め、採算性を再検証して案件を絞り込んだこともあり、売上高は4億25百万円となり、前年同期に比べて61百万円減少いたしました。また、市販出版物では、業績悪化の要因となっている返品を抑制すべく、当期も継続して市場在庫管理に注力したことにより、返品額は前年同期に比べて2億97百万円減少いたしました。しかし、上記新シリーズの発売で雑誌においては前年同期を超える売上を計上したものの、長引く出版不況や拡大するスマホアプリの影響により、地図においては前年に届かず、ガイドブックにおいては、前年に大型の新シリーズをリリースした反動減もあり、前年同期を大幅に割り込む売上となったため、市販出版物全体の売上高としては、前年同期に比べて1億47百万円減少し、12億43百万円となりました。また広告売上は、消費増税による景気下降予測を背景にした広告市況停滞の影響もあり、前年同期にわずかながら届かず、特注売上においては、今年度は特に利益を重視するという一方で、利益が見込めない可能性のある案件はあえて見送る場合もあり、売上高は前年同期に比べて減少いたしました。一方で、手数料収入については、前年6月に連結子会社となった（株）Kuqulu の収益が加算されたこと、及び「旅ナカ」関連サービスの拡大に伴い前年同期に比べて増加いたしました。この結果、売上高合計は前年同期に比べて2億6百万円（9.5%）減少し19億75百万円となりました。

損益面におきましては、売上原価において引き続き原価の圧縮に努めたことで売上高原価率が前年同期より改善したものの、一方で返品調整引当金繰入差額の負担が増加したため、売上総利益は、前年同期に比べて減少いたしました。また販売費及び一般管理費においては、広告宣伝費や賃借料等で新たに連結対象となった子会社分の増加はあったものの、前期にお

いて実施した希望退職者の募集に応じた社員の減員に伴う人件費の減少があり、前年同期に比べて減少いたしました。これにより営業損失は2億63百万円と前年同期に比べ48百万円改善いたしました。(前年同期は、営業損失3億11百万円)。これに伴い経常損失は56百万円改善し、2億34百万円となりました(前年同期は、経常損失2億91百万円)。この結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は69百万円改善し、2億42百万円となりました(前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億11百万円)。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、187億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億35百万円(4.7%)減少いたしました。この主な要因は、有形固定資産その他が91百万円、無形固定資産その他が74百万円、投資有価証券が46百万円増加した一方で、現金及び預金が8億15百万円、受取手形及び売掛金が2億10百万円、商品及び製品が49百万円、仕掛品が23百万円減少したことであります。負債合計は、36億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億22百万円(16.4%)減少いたしました。この主な要因は、返品調整引当金が98百万円、繰延税金負債が20百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が2億68百万円、未払法人税等が47百万円、賞与引当金が57百万円、流動負債その他が4億71百万円減少したことであります。純資産においては、前連結会計年度末に比べその他有価証券評価差額金が29百万円増加したことに加えて親会社株主に帰属する四半期純損失を計上いたしております。これにより純資産合計は2億12百万円(1.4%)減少し、150億74百万円となりました。なお、2019年6月27日開催の定時株主総会において決議いたしましたとおり、資本準備金の額のうち17億90百万円を減少し、その全額をその他資本剰余金に振り替えた後、さらにその他資本剰余金から同額を繰越利益剰余金に振り替えることで、同額分の欠損填補を行っております。

この結果、自己資本比率は80.2%と2.7ポイント改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、50億30百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億15百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、6億20百万円の支出となりました。その主な要因は、減価償却費及びその他の償却費が35百万円、返品調整引当金の増加額が98百万円、売上債権の減少額が2億10百万円、たな卸資産の減少額が73百万円あった一方で、税金等調整前四半期純損失が2億34百万円であったことに加え、賞与引当金の減少額が57百万円、受取利息及び受取配当金が14百万円、仕入債務の減少額が2億68百万円、特別退職金の支払額が4億13百万円、法人税等の支払額が28百万円あったことであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、1億94百万円の支出となりました。その主な要因は、貸付金の回収による収入が7百万円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が94百万円、無形固定資産の取得による支出が1億7百万円あったことであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、0百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、書店への売上が想定ほど伸びず予想を多少下回っておりますが、全体としてはほぼ想定通りに推移しているものと認識しております。よって第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましても、2019年5月15日に発表いたしました数値のまま変更しておりません。

業績の見通しにつきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因の一部である当社の事業におけるリスクについては、2019年6月27日提出の当社の「第60期有価証券報告書（2018年4月1日～2019年3月31日）」に記載されておりますのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,847,544	5,032,176
受取手形及び売掛金	2,722,415	2,511,562
商品及び製品	1,625,858	1,576,008
仕掛品	232,062	208,727
原材料及び貯蔵品	668	668
その他	141,927	138,339
貸倒引当金	△22,682	△20,784
流動資産合計	10,547,794	9,446,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,044,382	2,016,719
土地	3,614,234	3,614,234
その他（純額）	15,144	106,345
有形固定資産合計	5,673,761	5,737,300
無形固定資産		
のれん	179,804	174,944
その他	1,774	76,565
無形固定資産合計	181,578	251,510
投資その他の資産		
投資有価証券	1,744,269	1,790,389
退職給付に係る資産	1,346,949	1,358,466
その他	404,537	379,420
貸倒引当金	△203,526	△203,539
投資その他の資産合計	3,292,230	3,324,736
固定資産合計	9,147,571	9,313,546
資産合計	19,695,365	18,760,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	840,961	572,323
短期借入金	770,000	770,000
未払法人税等	76,058	28,595
賞与引当金	261,940	204,153
返品調整引当金	597,652	696,505
その他	1,075,664	604,255
流動負債合計	3,622,276	2,875,833
固定負債		
繰延税金負債	531,374	551,994
退職給付に係る負債	69,275	72,752
その他	185,642	185,642
固定負債合計	786,291	810,388
負債合計	4,408,568	3,686,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,141,136	10,141,136
資本剰余金	5,959,300	4,168,372
利益剰余金	△1,450,645	98,106
自己株式	△288	△324
株主資本合計	14,649,502	14,407,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625,532	654,788
為替換算調整勘定	△6,030	△6,289
退職給付に係る調整累計額	△7,555	△6,858
その他の包括利益累計額合計	611,946	641,640
新株予約権	25,348	25,093
純資産合計	15,286,797	15,074,023
負債純資産合計	19,695,365	18,760,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,181,983	1,975,768
売上原価	1,587,972	1,375,595
売上総利益	594,010	600,172
返品調整引当金繰入差額	71,525	98,853
差引売上総利益	522,485	501,319
販売費及び一般管理費	833,993	764,482
営業損失(△)	△311,507	△263,162
営業外収益		
受取利息	170	127
受取配当金	14,440	14,396
受取賃貸料	9,563	9,563
持分法による投資利益	—	113
その他	3,647	11,480
営業外収益合計	27,822	35,681
営業外費用		
支払利息	2,831	2,676
貸貸収入原価	4,502	4,275
持分法による投資損失	73	—
その他	84	483
営業外費用合計	7,491	7,435
経常損失(△)	△291,176	△234,917
特別利益		
固定資産売却益	381	1,202
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	382	1,202
特別損失		
固定資産売却損	—	68
投資有価証券評価損	3,610	799
会員権評価損	—	105
特別損失合計	3,610	972
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,405	△234,688
法人税、住民税及び事業税	11,875	4,268
法人税等調整額	5,061	3,218
法人税等合計	16,937	7,487
四半期純損失(△)	△311,342	△242,175
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△311,342	△242,175

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△311,342	△242,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,643	29,255
為替換算調整勘定	△9,778	△259
退職給付に係る調整額	△885	696
その他の包括利益合計	△42,308	29,693
四半期包括利益	△353,650	△212,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△353,650	△212,482
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△294,405	△234,688
減価償却費及びその他の償却費	30,345	35,145
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	3,610	799
持分法による投資損益(△は益)	73	△113
会員権評価損	—	105
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△66	△1,885
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,436	3,476
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,530	△10,511
賞与引当金の増減額(△は減少)	△81,197	△57,786
返品調整引当金の増減額(△は減少)	71,525	98,853
受取利息及び受取配当金	△14,611	△14,523
受取賃貸料	△9,563	△9,563
支払利息	2,831	2,676
売上債権の増減額(△は増加)	166,836	210,853
たな卸資産の増減額(△は増加)	162,587	73,185
仕入債務の増減額(△は減少)	△345,766	△268,637
その他	169,952	△26,882
小計	△148,942	△199,498
利息及び配当金の受取額	14,527	14,501
賃貸料の受取額	9,563	8,831
利息の支払額	△2,956	△2,831
解約違約金の支払額	△232,143	—
特別退職金の支払額	—	△413,246
法人税等の支払額	△34,240	△28,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	△394,191	△620,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,620	△1,648
定期預金の払戻による収入	—	1,629
有形固定資産の取得による支出	△13,970	△94,416
有形固定資産の売却による収入	392	1,119
無形固定資産の取得による支出	△85,980	△107,677
投資有価証券の取得による支出	△370	△378
貸付金の回収による収入	465	7,093
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△195,320	—
その他	3,201	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△293,204	△194,278
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△35
配当金の支払額	△364,516	△247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,516	△283
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,820	△338
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,060,733	△815,386
現金及び現金同等物の期首残高	7,132,362	5,845,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,071,628	5,030,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

当社グループは単一のセグメントであるため、記載を省略しております。